様式 数理１－３

|  |  |
| --- | --- |
| 専攻長印 | 指導教員印 |
|  |  |

学　位　論　文　審　査　願

　　年　　月　　日

数理物質科学研究科長　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　 　　筑波大学大学院博士前期課程

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 数理物質科学研究科　　　　　　専攻

　　　　　　　　　　　　　 　　　　年度入学

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学籍番号

　　　　　　　　　　　 氏名　　　 印

国立大学法人筑波大学学位規程第４条の規定により、修士（　　　学）の学位論文に下記の書類を添えて提出しますので、審査願います。

記

　　　　　　　　　１．　論文概要　　　　　　　　　　２通

　　　　　　　　　２．　論文目録　　　　　　　　　　２通

　　　　　　　　　３．　履歴書　　　　　　　　　　　２通

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 筑　波　大　学 | 受　理　番　号 |  | 博士前期課程　修士 |

様式 数理２

論　　文　　目　　録

筑波大学

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 博士前期課程 | 数理物質科学  研　 究 　科 | 専攻 | 学籍番号 | 氏　名 | 印 |
|  |
| 論　　文  １．題　　目  ２．印刷公表の方法及び時期 | | | | | |
| 参　考　論　文 | | | | | |

備考：論文題目が英語の場合は、日本語で訳文を（　　）を付して記入すること。

様式 数理２

論　　文　　目　　録（記入見本）

筑波大学

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 博士前期課程 | 数理物質科学  研　 究 　科 | 専攻 | 学籍番号 | 氏　名 | 印 |
|  |
| 論　　文  １．題　　目  　　修士論文と同一の題目を記入する。  　　備考に注意。  ２．印刷公表の方法及び時期  　　・修士論文の印刷公表の方法及び時期  　　例１ ：　　　年　月、学術専門誌〇〇〇〇に論文として掲載予定。  　　例２ ：　　　年　月までに学術専門誌〇〇〇〇に論文として投稿する。  　　例３ ：　　　年　月、〇〇研究会（××大学開催）報告集として投稿する。  　　例４ ：　　　年　月までに〇〇域年次報告または Web ページに公表する。  　　　　　（年は西暦で記入する。） | | | | | |
| 参　考　論　文  ↓１文字繰下げ  ○修士の学位申請者が個人または指導教員等と共同で行った研究論文で、修士論文に関連の深いものを５編以内で記載する。レフリー付きの学術専門誌の他に、年次報告、研究会・シンポジウム報告など、必ずしもレフリー付きでなくても、印刷・公表されたものであれば記載して良い。著者名、題目、誌名、年、巻、号、ページを正確に記入すること｡申請者が第１著者でなくても良い。著者名は全員記入し、申請者名に下線を引く。  例   1. 数馬太郎、伊理次郎、物部三郎、質　四郎、神科五郎、筑波　学、   チタン酸バリウム誘電率の温度依存性、誘電体研究会報告集(2001年７月，筑波大学)、26-30. | | | | | |

備考：論文題目が英語の場合は、日本語で訳文を（　　）を付して記入すること。

様式 数理８

筑波大学大学院　数理物質科学研究科

修士論文　作成様式

（１）用紙・寸法

1. A4 判の用紙（罫線無し）に横書きにする。ページ数の制限は無い。

　　２）なるべく両面コピーにより作成すること。

（２）文字及び用紙の余白等

１）原則として、和文または英文とし、パソコンにより作成すること。

1. A4判用紙に上部 2.5 cm、下部 2 cm、左右 2 cm 程度の余白をとり、本文の文字の大きさは10～11 pt、１ページ４５行程度を目安とする。
2. 論文中、本文の文字は黒色とする。ただし、図やグラフ、並びにそれらの中で使う文字は、必要に応じてカラー印刷を用いても良い。
3. 論文は、保存中に文字が消去する恐れのないものでなければならない。

（３）表紙及び内表紙

1. 論文の表紙は、「表紙の書き方（和文の場合）」、「表紙の書き方（英文の場合）」に従うこと。
2. 論文の内表紙は、「内表紙の書き方（和文の場合）」、「内表紙の書き方（英文の場合）」に従うこと。

（４）提出方法

　　　専攻の定める方法によって提出すること

（５）提出時の注意

論文提出に先立ち、内表紙に指導教員の認印またはサインを戴くこと。

表紙の書き方（和文の場合）

|  |
| --- |
| 筑波大学大学院博士前期課程  (16 pt 程度の文字，センタリング)  数理物質科学研究科修士論文  (16 pt 程度の文字，センタリング)  修　　士　　論　　文　　題　　目  (16～20 pt 程度の文字，センタリング)  著　者　氏　名  〇〇〇専攻  (16 pt 程度の文字，センタリング)  研究科の運営委員会で  「受理」を行う年月  日程を各自確認して記入すること  ２０××年　×月  (16 pt 程度の文字，センタリング) |

Ａ４判用紙（枠は紙の大きさを示す）

|  |
| --- |
| Title of Master Thesis (approx. 16 to 20 pt)  Name of Author  Master’s Program in Name of Major Field  (approx. 16 pt)  専攻名  Mathematics  Physics  etc…  Submitted to the Graduate School of  Pure and Applied Sciences  in Partial Fulfillment of the Requirements  for the Degree of Master of Name of Degree    学位名  Science  Engineering  at the  University of Tsukuba  (approx. 16pt)  研究科の運営委員会で  「受理」を行う年月  　　　（月）　（年）  The month and year of submission to the board of our graduate school.  February 20xx  (approx. 16pt) |

　表紙の書き方（英文の場合）

Ａ４判用紙（枠は紙の大きさを示す）

|  |
| --- |
| 筑波大学大学院博士前期課程  (16 pt 程度の文字，センタリング)  数理物質科学研究科修士論文  (16 pt 程度の文字，センタリング)  修　　士　　論　　文　　題　　目  (16～20 pt 程度の文字，センタリング)  著　者　氏　名  〇〇〇専攻  (16 pt 程度の文字，センタリング)  指導教員　　〇〇〇〇〇〇　印  (16 pt 程度の文字，センタリング) |

　内表紙の書き方（和文の場合）

Ａ４判用紙(枠は紙の大きさを示す)

|  |
| --- |
| Title of Master Thesis  (approx. 16 to 20 pt)  Name of Author  Master’s Program in Name of Major Field  (approx. 16pt)  専　攻　名  Mathematics  Physics etc…  Advised by 〇〇〇〇〇〇〇  (approx. 16pt)  Signature  Submitted to the Graduate School of  Pure and Applied Sciences  in Partial Fulfillment of the Requirements  for the Degree of Master of Name of Degree    学　位　名  Science  Engineering  at the  University of Tsukuba  (approx. 16pt) |

　内表紙の書き方（英文の場合）

Ａ４判用紙（枠は紙の大きさを示す）

様式 数理９

筑波大学大学院　数理物質科学研究科

修士論文概要　作成様式

1. 用紙及びページ数
2. A4 判の用紙（罫線無し）に横書きにする。
3. 論文概要は、すべてを含めて２ページに収めること。第１ページ冒頭部は下の書式に従うこと。

（２）文字及び用紙の余白等

1. 原則として、和文または英文とし、パソコンにより作成すること。
2. A4判用紙に上部 2.5 cm、下部 2 cm、左右 2 cm程度の余白をとり、本文の文字の大きさは10～11 pt、１ページ４５行程度を目安とする。

（３）第１ページ

１）論文概要の冒頭部分は本様式の書式に従うこと。すなわち、「数理物質科学研究科修士論文概要」に続いて専攻名、学籍番号、学生氏名を書き、学位名としては修士（〇

　　〇学）、指導教員名を書く。その下に修士論文題目及び論文概要を書く。

２）提出の際、指導教員の認印（シャチハタ等のゴム印は不可）、またはサインを戴くこと。

３）英文の場合、論文概要の冒頭部分は本様式の書式に従うこと。

（４）提出時の注意

1. 論文概要は左上をゼムクリップでとめること。
2. １通は指導教員の認印（サイン）がある原本、もう１通はそのコピー、計２通を提出する。

|  |
| --- |
| 2.5 cm  数理物質科学研究科　修士論文概要  　　　　　　　　　　　　　　　　　　専 攻 名　　〇〇〇〇〇〇〇〇  　　　　　　　　　　　　　　　　　　学籍番号　　〇〇〇〇〇〇  　　　　　　　　　　　　　　　　　　学生氏名　　〇〇〇〇〇〇  　　　　　　　　　　　　　　　　　　学 位 名　　修士（〇〇〇）  　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導教員　　〇〇〇〇〇〇印  修士論文題目　　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  （論文題目が英語の場合は、日本語で訳文を（　）を付して記入すること）  （以下本文）  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  　2cm　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 2cm  2cm |

（和文の場合）

Ａ４判用紙(枠は紙の大きさを示す。点線は余白の幅を示す)

（英文の場合）

|  |
| --- |
| 2.5 cm  Graduate School of Pure and Applied Sciences  Title of Master Thesis  (Add Japanese subtitles of your title here inside parentheses)  Name of Students  Master’s Program in Major Field  　　　　　　　　　　　　　　　　　　 Student ID Number  　　　　　　　　　　　　　　　　　　 Master of Name of Degree  　　　　　　　　　　　　　　　　　　 Advised by  *Signature* Abstract (The abstract of your thesis should be written from here.)  Science  Engineering  　2cm　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 2cm  2cm |

Ａ４判用紙(枠は紙の大きさを示す。点線は余白を示す。)